



神宮寺便り

沖繩は桜の季節となりましたね。先日、名護岳に登り、きれいに咲き誇っている桜を見て参りました。青空に映えるピンク色に心和む一服でした。
さて、今回は神宮寺の本山である京都東寺をご紹介します。東寺境内にも見事な桜の木が植えられています。東寺のお花見は3月後半がお勧めです。

東寺 良啓



794年(桓武天皇御代)平安京造営に伴い、創建されました。1994年(建都1200年)ユネスコの世界遺産に登録。平安京は、現在の京都府京都市中心部にあたる東西4.5km、南北5.2kmの長方形に区画された都城でした。

唐の長安城に倣い、都の北端中央に大内裏を設け、そこから市街の中心に朱雀大路を通して左右に左京・右京を置き、それぞれの要として東寺(左京)・西寺(右京)が建立されました。しかし、桓武天皇の死後、寺の建設は頓挫しました。その後(823年)、嵯峨天皇より空海に下賜され、本格的な建設が再開されました。これ以降、衰退した時期もありましたが、多くの貴顕や為政者の援助を受けて栄えました。



現代では、空海の入定信仰により生身供(今も生きているがごとく一の膳・二の膳・茶菓子を与える儀式)が行われ、毎月21日の御影供(空海の命日供養)には境内にフリーマーケット(弘法市、弘法さん)が立ち並び、観光名所のみならず、京都庶民に密着したスポットとなっています。

弘法大師のことば

裕俊

おしえ したが まどか
教 に 従 う こと 圓 なる が 如 くな る と き は
すなわ ようふ さん こう のほ
即 ち 庸 夫 の 子 も 三 公 に 登 り つ べ し
三教指帰卷上・亀毛先生論(定七・四六)

「聖人の教えを従順に守り、かつ実行するならば、たとえ凡人の子であつたとしても、三公という最高の位にのぼることができる。逆に、聖人の教え・忠臣の誠めに従わないならば、王侯の子孫といえども、ただの人となってしまう、と続く」
私達はそれぞれ生まれ持った境遇が違います。自分より良い境遇の人を妬んでいても仕方がありません。しかし、自分の進む道を選ぶことはできます。その選択肢が周囲の環境に影響される事はあつても、決断するのはあなた自身です。今の境遇を変えたいのであれば、まず自分を変えてみる努力をしてみてもいいかがでしょうか。

今月のお茶「奥山紅茶」 奈緒子

沖繩最北端の国頭郡奥ではお茶の栽培が盛んです。奥集落の緑茶は有名ですが、同じ木から違う工程で紅茶も作られています。

今回の紅茶はアッサム系の「印雑」と言う品種です。アッサムは仏教発祥の地であるインドのアッサム地方から発見された野生品種から作られたお茶です。お釈迦様とのつながりもあつたかもしれませんね。

味は、まろやかでやさしい紅茶で、香りも豊かです。

※こちらで紹介したお茶は毎月、「神宮寺学ぶ会」にて提供させて頂いております。沖繩県奥産茶をご提供。

2月の神宮寺

2月6日 19時～ 神宮寺学ぶ会 (写経)

3月の神宮寺

3月6日 19時～ 神宮寺学ぶ会

(法事のマナー講座)

(どなたでもご参加いただけます)